

【学校教育目標】「感謝の心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子供の育成」

第 21 号



学校だより 堂崎つ子

令和 6 年 12 月 24 日
南島原市立堂崎小学校
校長 末吉 優

二学期を振り返って（二学期終業式より）

皆さんにとってどんな二学期だったか。身長や体重から見ても、大きく成長した二学期であった。また、学習においても、国語辞典を使い自分で調べる、よく発表する、熱心に話し合う姿を目にした。担任の先生方からあゆみをもらうが、この終業式では、二学期を振り返り、自分のあゆみをつけてもらいます。「あいさつ・ありがとう・あとしまつ」についてはもちろんだが（それぞれ確認）、これらに加え、特に実践してほしいことを二つ話した。



① 二学期は、運動会、持久走大会、宿泊体験学習、修学旅行、各学年の見学などのたくさんの行事があった。これらの行事をとおして、自分を鍛えてほしいと話した。大切なことは、行事に対して、どのように準備や練習、努力を行ったのか、また、行事を終えて、どのように自分が変わったのか、振り返りながら、自分の成長を実感してほしいということであった。

② 堂崎小学校の良さは、学年を超えた地域の関わり、縦割り活動である。芋植え・草取り、集団登下校など、上級生から下級生（1・2年生）への教えがしっかりできたかということ。それらの中でも、特に、登校中の安全な歩き方や地域の方々へのあいさつなど、手本を示し、先輩から後輩へ確実に伝えてほしいと伝えた。皆さんは、どのように受け取り、行動に移すことができたか。できたこと、できなかったことあると思うが、これらが、堂崎小学校の新たな歴史となる。来年は、堂崎小学校が生まれて150年になる。新たな歴史を刻む上で、上級生の力・地域の先輩の力はとてつもなく大きい。

学校は、学習する場所。たくさんのことを学ぶために自分で目標を決めて行い、やり遂げると気持ちが良い。誰かを頼るのではなく、最後は自分の力を信じるしかない。勉強を頑張ることができたか。少しでも「できることが増えたならば、よき習慣がかわった」といえる。

さて、明日から冬休みが始まる。二つのお願い。まず、一つ目。新年を迎えるに当たり、年末は、一年を無事に過ごした感謝の気持ちを込めて大掃除をするので、家族の一人として「仕事」を決め、役割を果たしてほしい。

二つ目。二週間の冬休み、健康安全に気を付けて過ごしてほしい。（生活のリズムを崩さない、食べ過ぎをしない、様々な感染症・病気に気を付ける、交通事故などがないように） 1月8日、3学期始業式、笑顔で会いましょう。

12月9日（月）PTA役員会

年末の多忙な時期、役員の皆様には出席いただきありがとうございました。校長より学校行事についてお話をさせていただきました。運動会の5月実施、平和学習（長崎市）とクリーンセンター（諫早市）見学を4・5年生で、2年に一回実施。また、R7年度の主な行事については、担当より概略の情報提供を行いました。期日等がある程度決まりましたら、改めて保護者の皆様へもお知らせします。

さて、2学期の振り返りや冬休みの生活で、「オンラインゲーム」が話題の一つにありました。もちろんゲームに無縁・関心のない家庭もありますが、兄弟や友達の影響によりゲームを行っている子供がいることは事実です。「午後8時以降は、他人の家に上がり込んでいるという認識で、オンラインゲームはしないというルールを守っていこう。」と確認をしたところです。

子供の健全な生活を保障する意味で、冬休みの生活でもお知らせしている内容を再度ご確認ください。皆様のご理解・ご協力をお願いします。



お知らせ

ひまわり学級担任の 林 先生が、先月、ご結婚されました。おめでとうございます。
門 焔 先生として、すべての堂崎小学校の子供たちのために頑張ろうと、決意を新たにされています。どうぞ、よろしくお願いします。



制服改定に関するアンケート（有家中学校より）を配付しています

現在、南島原市内中学校では、多様な性への対応等を目的とし、制服改定に向けて協議を進められています。そこで、小学校4年生・3年生の保護者様のご意見を伺いたいという有家中学校からのアンケートを配付しております。1月24日（金）までの回答となっておりますので、ご多用とは思いますが、早めの対応をよろしくお願いします。

入賞者の紹介 入賞おめでとうございます！（敬称略）

< 第70回記念「子ども県展」 >

特選 5年 末吉

入選 1年 金子、田中、松永、渡部
5年 金子、金子、神崎、神崎、松尾
6年 荒木、荒木、木村、田中、本村

第70回長崎県小・中学校児童生徒美術作品展「子ども県展」が開催されます。

1 日 時 令和7年1月21日（火）から1月26日（日） 10:00~20:00

2 会 場 長崎県美術館（長崎市出島町2番1号） ※入場無料（特別賞・特選作品が展示されます）

< 第74回 社会を明るくする運動 作文コンテスト >
優秀賞 鬼塚 「人のための行動」

< 第18回有家・西有家地区体づくりマラソン大会入賞者 1~6位まで >

1年男子 3位 中川	1年女子 4位 田中	2年男子 2位 松尾	4位 松尾
2年女子 4位 井上	3年男子 1位 古江	5位 坂上	
4年男子 5位 井上	6位 松永	4年 女子2位 松尾	6位 小島
5年男子 2位 坂上	5年 女子1位 松尾		

赤い羽根共同募金 御協力ありがとうございました。

12月16日（月）~18日（水）に赤い羽根共同募金活動を行いました。障害のある人が安心して生活できるようにしたり、独り暮らしのお年寄りを見守る活動をしたり、災害により被災された人々の生活を支えたりするなど、誰もが暮らしやすいまちづくりにために役立てられています。温かい心遣い、ありがとうございました。



日本文化の継承 年末年始はいかに……



年末年始の慣習は、一つ一つに意味があるからこそ、「日本文化」として続けられてきたことなのでしょう。そこには、挨拶や言葉遣いをはじめとして、礼儀やマナーも関わってきます。

時間や手間を惜しんだり、堅苦しさが敬遠されたりする風潮の中ですが、子供たちにも、是非伝えていきたいですね。

礼儀やマナーという行為の「形」に込められた「心」を改めて見つめ直してみたいものです。皆様、よい年をお迎えください。

